

シェア・インターナショナル ニュース

[インターネット版]

エルサレムのUFOとカイロに現れた白馬の騎士は 世界教師マイトレーヤの徴である

最近、世界中で何百万という人々が二つの奇跡的出来事を、テレビおよびインターネットの画面で目撃した。映像に映っていたのは、一つはエルサレムの神殿の丘上空を回遊する光り輝くUFO、もう一つはエジプトのタハリール広場に集まった群衆の中を駆け抜けた、この世のものとは思えない白馬に跨がった白衣の騎士の姿である。

UFOは少なくとも3人の異なった目撃者によって映像に収録された。シドニー・モーニング・ヘラルド紙は報道した—「多分、より興味深いのは、それが様々な角度から撮影され、しかもすべてにおいて、特にその物体が高速で上昇する同じ瞬間を一致して映しているという事実である」。英国のチャンネル4ニュースは、ビデオが「全く同じ光の球体」を示しているように見え、しかも「あの聖地の上空を飛行することは禁じられているので、その光は飛行機からのものであるはずはなく、なぞは深まる」とコメントした。

これらの現象は何を意味するのか。誰がつくっているのか。この危機と変化の時期においてそれらの意味は何か。

ベンジャミン・クレーム（画家、著作者、講演者）によると、これらは、世界教師マイトレーヤの公けの舞台における出現を先触れするたくさんの徴や奇跡のうちの二つである。

2010年1月14日に、ベンジャミン・クレームは、マイトレーヤが初めてテレビに（匿名で）現れたということを発表した。それ以来、マイトレーヤはアメリカで29回現れ、さらに多くのインタビューが間もなくアメリカ大陸、日本、ヨーロッパ、その他において行われることが期待されている。

ベンジャミン・クレームの師である覚者によると、エルサレムに現れたUFOは2008年12月以来、世界中で目撃されてきたマイトレーヤの公けの出現を先触れする四つの‘星’の一つであった。さらに、白馬に跨がった騎士は、エジプトの人々が行っていることのものすごさを示すためのマイトレーヤからの祝福であり、彼が正義と自由のために闘う民衆と共にあることを示していると、覚者は確認された。マイトレーヤはこれまでもしばしば白馬の騎士—来るべき教師に対する古くからの象徴—として現れた。多くの人々が今や彼らの待望する教師を、キリスト、メシア、第五仏陀、クリシュナ、カルキアバター、あるいはイマムマフディなど、何と呼ぼうと、期待しているのである。

詳細については：www.share-international.org（英語）または <http://sharejapan.org>（日本語）をご参照ください。